



巨理	名取市花卉生産組合がカーネーションの産地表示販売に取り組みました 【農業振興部（巨理農業改良普及センター）】・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
林振	林業専用道上嘉太神線の整備が完了、大和町へ移管しました 【林業振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
農振	大郷町の土地利用型法人によるえだまめの播種が行われました 【農業振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2

名取市花卉生産組合がカーネーションの産地表示販売に
取り組みました ▶農業振興部



新型コロナウイルスの影響により、花き産業は大きな影響を受けていますが、「地元の花の産地を応援したい」という消費者の声も聞かれます。

一方、花きの分野においては、産地名を表示した販売が十分に行われていないため、消費者が購入する時には、産地を認識しづらい状況にあります。

こうした中、名取市花卉生産組合では、市場関係者や県内量販店、地元生花店の協力を得て、母の日で需要が高まる4月下旬から5月上旬までの間、シールやポップ等で産地名を表示する「名取のカーネーション」の産地表示販売に取り組みました。

取組に協力した地元生花店から、「名取産を指定して購入する消費者もいることから、これからも名取のカーネーションの産地表示販売を続けたい。」との声が多く聞かれました。

花きの分野においても、産地が消費者の商品選択の指標となれば、ブランド化の手段にも成り得ると考えられ、今後、定着が期待される取組でもあります。

普及センターでは、生産者と実需者の生販連携による取組を今後も継続して支援してまいります。



▲ 生花店に協力を依頼する花き生産者



▲ 生花店での産地表示販売の様子

大和町吉岡から西へ約 10 kmにある大和町吉田字欠入西地区から上嘉太神南地区に渡る林業専用道上嘉太神線の整備が完了し、この度、大和町へ引き渡しされました（移管）。

令和 3 年 5 月 26 日に行われた引き渡し式には、森林所有者の一般社団法人吉田愛林公益会も同席し、宮城県と大和町が、それぞれ引継書に調印しました。

上嘉太神線は、平成 24 年に着工した県内初の林業専用道で、開設延長は 3,950m、森林利用区域面積は 320ha に及びます。

今後は町が管理を行うこととなり、当専用道を核とした路網ネットワーク整備や間伐等の森林施業が進み、高性能林業機械を活用した効率的な作業システムにより林業生産性の向上が期待されます。林業振興部では引き続き、森林施業の集約化や担い手の育成支援等により、更なる森林整備を推進していきます。

※林業専用道：間伐作業や主伐後の再造林等の森林施業の用に供する林道



▲ 完成した上嘉太神線



▲ 森林整備が見込まれる周辺の森林

大郷町の土地利用型法人によるえだまめの播種が行われました

▶農業振興部



大郷町前川地区では令和 5 年度から農地整備事業が予定されており、事業完了後には高収益作物を導入することが要件となっています。その作物としてえだまめとねぎが検討されており、地区内の土地利用型法人 4 法人が、今年から初めてえだまめ栽培に取り組むことになりました。普及センターでは、このうち栽培面積が大きい「農事組合法人かすかわ」と「有限会社薬師農産」の 2 法人を対象として、栽培技術の支援や作型の検討を行っています。

去る 5 月 25 日、「農事組合法人かすかわ」が、えだまめの播種作業を行いました。好天に恵まれた当日は、朝 9 時から作業を開始し、途中、播種の間隔や種の深さなど機械の微調整を行いながら、約 1 時間で 30 a ほど播種を行いました。今回播種したえだまめは、8 月中旬頃の収穫を見込んでいます。

普及センターでは、大郷町や J A 新みやぎあさひな地区本部と連携しながら、土地利用型法人によるえだまめの導入と定着を図っていくこととしています。



▲ 播種状況の確認